



尼崎市教職員組合：尼崎市西長洲町2-34-1
執行委員長 中川 純一
TEL 06-6481-1133 FAX 06-6481-9520
ホームページ <http://amakoso.wix.com/amakoso>
E-mail amakoso@s5.dion.ne.jp

人事異動で困ったときの相談は

尼教組へ

*LINEで連絡を⇒



もしくは電話 06-6481-1133(平日午後)



(以下は市教委作成の説明資料から)

尼崎琴葉中学校(学びの多様化学校)はどんな学校?

人事異動希望の時期になり、来年度開校の尼崎琴葉中学校(学びの多様化学校)についての情報が少なくて、異動先の対象にするかどうかの判断ができるないと学校現場からの声があります。尼教組は、その声を市教委に伝え質疑を行い、尼崎琴葉中学校の情報を市内各学校に発信するよう要請しました。

質疑は以下の内容です。

尼教組から	市教委からの返答
教職員の配置	校長 1、教頭 1、教員 7、養護 1、事務 1
加配はつくのか?	調整中
カウンセラーは?	配置に向けて調整中
サポートスタッフ、校務員は?	配置に向けて調整中
勤務時間は?	他の学校と同様
家庭訪問時の交通手段	公共交通機関や自転車を基本とし、必要に応じて公用車の使用も想定
校務分掌は?	検討中ですが、既存の学校と異なることも想定
教科の評価は?	基本構造は同様。授業時数等が異なるため、評価材料等について研究実践をすすめていく。
行事はどうする?	生徒の意見や状況を踏まえて、計画・実施していく予定
クラブ活動は?	想定していない
生徒個人の指導計画は?	個々の状況を把握し、教員間、生徒や保護者と共有し、生徒の学びに活かす仕組みについて検討していく必要がある。

新しくつくる学校なので、「教職員みんなで討議することが多く、クリエイティブな意欲ある職員が求められる」と市教委は期待しているようです。

◇定員◇ 全校生徒40名程度(通常の学級が1学年1学級ずつ:各学年10~15名程度)
 ◇場所◇ 尼崎市南城内10番地の2
 ◇施設◇ 新校舎(平屋)と成良中学校琴城分校の校舎を併用。琴ノ浦高校の運動場と体育館を利用。
 ◇教育課程◇ 総授業時数を2~3割削減するとともに、各教科の授業時数削減分の一部を加えて「総合的な学習の時間」を拡充し、ゆとりと特色ある学びの実現を図る特別の教育課程を文部科学省に申請中。
 ◇入学・転学の検討の対象となる児童生徒◇
 ①尼崎市内に居住していること、②不登校状態である又は不登校傾向が見られること、③尼崎琴葉中学校の教育課程や特徴を理解した上で、本人・保護者ともに入学・転学を希望するとともに、登校して学ぶことを希望すること。
 ※上記①~③の要件を全てを満たす児童生徒について、入学・転学の検討を行います。
 ※入学・転学は、面接等を経た上で、本人の状況や意思、支援状況、実施する教育活動等により総合的に判断します。



イメージ

◆総合的な学習の時間の拡充により柔軟で多様な学びを実現します◆

個別最適な学びを重視した科目
【キーワード】

- ・教科学習
- ・学び直し
- ・自己調整力
- ・SST
- ・インプット
- ・自分のベース
- ・好き得意
- ・対話
- ・自主性
- ・学びの保障

協働的学びを重視した科目
【キーワード】

<ul style="list-style-type: none"> ・探究 ・キャリア ・余暇 ・社会性 ・創造性 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験 ・生き方 ・つながり ・ゲストティーチャー ・アウトプット
---	---

◆特色のある学び

◆総合的な学習の時間の拡充により柔軟で多様な学びを実現します◆

個別最適な学びを重視した科目
【キーワード】

- ・教科学習
- ・学び直し
- ・自己調整力
- ・SST
- ・インプット
- ・自分のベース
- ・好き得意
- ・対話
- ・自主性
- ・学びの保障

協働的学びを重視した科目
【キーワード】

<ul style="list-style-type: none"> ・探究 ・キャリア ・余暇 ・社会性 ・創造性 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験 ・生き方 ・つながり ・ゲストティーチャー ・アウトプット
---	---

◆同学年集団と異学年集団の良さが活きる学びの環境を作ります◆

【イメージ例】

2

A flyer for a memorial lecture featuring Sayuri Ando. The top half features a portrait of Sayuri Ando, a young woman with short brown hair, wearing a white t-shirt with a blue floral pattern on the shoulder. The text at the top reads '2025ひょうご教育のつどい in 尼崎' and '記念講演 安田菜津紀さん'. Below the portrait is the subtitle '紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと～'. The right side of the flyer contains event details: '2026年 1月24日(土) 尼崎市 中小企業センター 多目的ホール 阪神尼崎駅より徒歩5分' and '開会行事 13:30 記念講演 14:10'. A green box on the right says '参加費無料 どなたでも参加できます'. The bottom left contains a biography of Sayuri Ando, and the bottom right lists the organizing committee and contact information.